

井原議員（広志会）

令和6年2月20日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）民間の手法を取り入れることについて

取組の多くが、いわゆる民間等が開発した手法を持ってきて、トップダウンで行ったという声もあるが、教育長の見解を伺う。

（答）

本県では、これまで、「学びの変革」に取り組んでまいりましたが、先例のない取組であることから、様々な分野において自ら新しい道を開拓していくこととなり、外部の大学や専門家等の知見やリソースを活用し、事業を展開していく必要がございました。

外部のリソースの活用にあたっては、教育委員会事務局の職員が外部の大学や専門家等と協働して、その手法について検討した上で、本県の状況を踏まえながら取組を進めてきたものでございます。

これまで進めてきた様々な取組につきましては、私一人でできるものではなく、外部の方々のお力もお借りしながらではございますが、教育委員会事務局の職員をはじめ、現場の教職員の努力によって進めることができたものと考えております。